



2021年5月19日

各 位

会社名 株式会社 は せ が わ
 代表者の 代表取締役社長 新貝 三四郎
 役職氏名
 (コード番号 8230 東証第一部・福証)
 問合せ先 経営企画部長 吉安 大輔
 T E L 03-6801-1074

2021年3月期連結業績予想と実績値の差異及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

2021年3月11日に公表いたしました、2021年3月期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が発生し、また、2021年3月期第4四半期会計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)において、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期連結業績予想数値と実績値の差異

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	17,700	800	850	100	5円51銭
今回の実績値(B)	17,838	1,078	1,087	215	11円87銭
増減額(B-A)	138	278	237	115	-
増減率(%)	0.8	34.8	28.0	115.6	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	17,917	△957	△951	△1,114	△61円47銭

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響が前回発表予想より限定的であり、仏壇仏具事業・墓石事業が堅調に推移したため、前回発表予想を上回る実績となりました。

営業利益につきましては、売上増に伴う荒利益高の増加に加え、販売費及び一般管理費の効率的な費消に努め、かつ年金資産の運用から生じる運用益を計上した結果、前回発表予想を上回る実績となりました。以下、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、同様に前回発表予想を上回る実績となりました。

3. 特別損失(減損損失)の発生及びその内容

当社グループが保有する収益性が低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額54,950千円を減損損失として計上いたしました。

なお、2021年3月期第3四半期累計期間までに既に計上しております減損損失計上額を含めた2021年3月期通期の減損損失は、93,141千円となります。2021年3月期連結業績への影響につきましては、「1. 2021年3月期連結業績予想数値と実績値の差異」に記載のとおりでございます。

以 上